

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		環境美化活動事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	市民部	課長名	松永 公明
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	環境衛生課	担当者名	橋本 武和
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	
		1	4	1	7	10116	成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6-1	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		H5	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 各区及び職員等による環境美化活動の推進を行う。								
【業務の流れ】 各区の実施日の把握、実施後の処理、職員による清掃活動の計画・実施、枝・草の収集運搬								
【主な予算費目】 旅費、需用費、役務費、委託料								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度と同じ
各区による清掃活動 職員等による河川清掃(上生川・塩堤川) 1回 288名参加 枝・草の収集運搬 美化活動を行った行政区 79区 14市環境担当課長先進地研修(宇城市)に参加 1回	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 清掃活動を行った行政区 地区 イ 河川清掃に参加した職員等 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 河川、公園等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 公園の数 箇所 イ 河川の数 本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 河川、公園等の草・枝等を適切に処分する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 処理委託した量 kg イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 快適な住環境で暮らすことができる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 苦情件数とその対応率 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載) 0 0 0 22年度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円		3,934	2,792	1,697	2,155	2,760		2,760
		うち指定経費	千円		0	3,934	2,792	1,697	2,155		2,760
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		正規職員従事人数	人	1	2	7	7	7	7		7
		延べ業務時間	時間	16	48	336	336	336	336		336
(B) 人件費計	千円	64	191	1,337	1,337	1,337	1,337	1,337	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	64	4,125	4,129	3,034	3,492	4,097	4,097	0		
活動指標	ア 地区 イ 人		79 370	79 347	79 400	79 288	79 400	79 400	79 400	目標総合計画 22年度	
対象指標	ア 箇所 イ 本		145 2	145 2	145 2	148 2	148 2	148 2			
成果指標	ア kg イ		90000	100000	100000	100000	100000	100000			
上位成果指標	ア % イ		100	100	100	100	100	100			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
くまもとみんなの川と海づくりデーに伴い平成5年度より開始
燃やすごみの減量のため、枝草類の資源化に取り組む(平成19年度開始)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
変化なし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
なし

事務事業名	環境美化活動事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 河川・公園等の枝・草を適切に処分することにより、快適な住環境で暮らすことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 公園等公共用地の草等の処理であり市が行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 公園等公共用地のみを対象としているので妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 毎年、草木の処理は行う必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 各区及び職員による河川清掃はボランティアで行われているため、剪定・除草委託費が必要となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業なし。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在、焼却処分できないため、民間業者への処理委託の必要がある。見積りによる委託契約のため事業費の削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 各区で作業日が異なるため、その後の処理に要する業務時間を短縮することは困難であるが、業者等への委託は可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 公共用地のみを対象としているので公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、毎年、草木の処理は行う必要がある。 ③効率性については、各区で作業日が異なるため、その後の処理に要する業務時間を短縮することは困難であるが、業者等への委託は可能である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 草木の処理等については、関係課(建設課、都市計画課)と連携を図る。また、及び人件費の削減については、委託に伴う事務費の増と合わせて検討する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策特になし。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)